



JCI KOMAGANE 60th



JCI KOMAGANE 60th



1966 - 2026

一般社団法人 駒ヶ根青年会議所

60 周年記念誌



•ごあいさつ	5
•ご祝辞	6
•駒ヶ根青年会議所の歩み(2016~2025)	12
•(一社)駒ヶ根青年会議所:未来ビジョン2026	18
•会員紹介	20
•特別会員・物故会員・賛助会員 紹介	22

創立60周年記念式典次第

日時:2026年6月20日(土) PM3:30~PM4:50

会場:赤穂公民館 大ホール

1. 物故会員追悼
1. プロローグ
1. 開会宣言
1. 国歌斉唱
1. JCソング斉唱
1. JCIクリード唱和
1. JCI Mission並びにJCI Vision唱和
1. JC宣言文朗読並びに綱領唱和
1. 理事長挨拶
1. 来賓紹介
1. 歴代理事長紹介
1. 特別会員紹介
1. 来賓祝辞
1. 祝電披露
1. スポンサーJC感謝状贈呈
1. 来訪JC紹介
1. 姉妹JC挨拶
1. シニア・クラブ記念品寄贈
1. ビジョン発表
1. 閉会宣言

JCI Creed

The Creed of Junior Chamber International
We Believe
That faith in God gives meaning and purpose to human life;
That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations;
That economic justice can best be won by free men through free enterprise;
That government should be of laws rather than of men;
That earth's great treasure lies in human personality;
and That service to humanity is the best work of life.

日本語訳

我々はかく信じる
真理は人生に意義と目的を与え
人類の同胞愛は国家による統治を超越し
公正な経済は我々の自由な経済活動によってこそ果たされ
政府には人治ではなく法治が必要であり
人間の個性はこの世の至宝であり
人類への奉仕が人生最大の使命である

JCI Mission

To provide leadership development opportunities
that empower young people to create positive change.

日本語訳

青年会議所は、青年が社会により良い変化をもたらすために
リーダーシップの開発と成長の機会を提供する。

JCI Vision

To be the foremost global network of young leaders.

日本語訳

青年会議所が、若きリーダーの国際的ネットワークを
先導する組織となる。

JC 宣言文

日本の青年会議所は
希望をもたらす変革の起点として
輝く個性が調和する未来を描き
社会の課題を解決することで
持続可能な地域を創ることを誓う

綱領

我々JAYCEEは
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者、相集い、力を合わせ
青年としての英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう

ごあいさつ



一般社団法人 駒ヶ根青年会議所
第61代理事長 桃沢 拓也

平素より本会の活動にご理解とご協力を賜っております地域の皆様、関係諸団体の皆様に、心より御礼申し上げます。
本年、設立から60年を迎え、創立60周年記念誌を発刊できますことは、ひとえに皆様の長年にわたるご支援の賜物で
あり、ここにあらためて深く感謝の意を表します。

駒ヶ根青年会議所は、1966年、地域社会の開発と発展向上の意欲に燃えた青年たちが、純粋な正義感と熱烈なる
行動力をもって団結し、発足いたしました。当時の設立趣意書には、「明るい豊かな駒ヶ根コミュニティの実現をめざし、
微力ながら全力を尽くす。」と力強く刻まれており、その一念のもと、先輩諸兄姉は時代ごとの課題と真正面から向き合
い続けてまいりました。中央道開発を見据えた交通環境への対応、青少年健全育成、環境保全に至るまで、地域の変化
を的確に捉え、必要とされる取り組みを具体の形にしてきました。その歩みが、今日の本会の礎であります。先達のご尽
力に、あらためて深く敬意と謝意を表します。

歴史とは、振り返るものではなく、受け継ぐものです。純粋な正義感と熱烈なる行動力、という創始の精神は、60年を
経た今もなお、脈々と私たちの中に存します。創始の精神を受け継ぐ私たちもまた、現状に安住することなく、自ら課題を
見出し、熟考し、責任をもって行動してまいります。その姿勢こそが、明るい豊かな伊南地域への道を切り拓くものと確
信しております。

本年度のスローガン「NEXT CHALLENGE!」には、次代へ挑み続ける決意を込めました。青年会議所は単年度制
のもと毎年体制が改まります。一見すれば不連続の連なりではありますが、1年という限られた時間の中で責任を果たし、
その志を明確に次代へ引き渡してきました。揺らぐことなき想いを以て運動を継いできたことこそが、本会60年の力で
あります。

60周年という節目に立つ私たちは、創始の精神に立ち返り、この志をさらに力強く次代へと継承し、伊南地域の未来
に確かな変化を生み出す運動を断行してまいります。今後とも変わらぬご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げ、
創立60周年記念誌発刊のご挨拶といたします。

ご祝辞



長野県知事

阿部 守一

駒ヶ根青年会議所が創立60周年という輝かしい節目を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。貴青年会議所は、「修練・奉仕・友情」の精神のもと、地域に根ざした活動を重ね、伊南地域の発展を力強く支えてこられました。その歩みに対し、深い敬意と感謝を申し上げます。さて、私たちは今、人口減少や気候変動、AI・デジタル技術の進展など、社会の前提が大きく変わる時代の只中にあります。こうした時代だからこそ、従来の「当たり前」にとらわれることなく、何を価値として未来へ引き継ぐのかを問い直しながら「社会の基本設計」を時代にふさわしいものへと更新していくことが求められています。伊南地域は、リニア中央新幹線の開通を見据え、人の流れや産業構造が大きく変わる中で、交流と価値創造の新たな結節点として今後さらに大きな発展可能性を有しているものと考えております。こうした変化を確かな発展につなげていくため、長野県では、「しあわせ信州創造プラン3.0」などにに基づき、多様な人材が活躍できる社会づくりや脱炭素の推進など、信州の強みを生かした取組を進めております。これからの時代において、地域と行政、人と人をつなぎ、共感を行動へと変えていく青年会議所の存在は一層重要になります。皆様の挑戦が、伊南地域の未来を切り拓く大きな力となるものと確信しております。60周年という節目を新たな出発点として、駒ヶ根青年会議所が志と絆を礎に、地域とともにさらなる歩みを進められますことを心からご期待申し上げます。



駒ヶ根市長

伊藤 祐三

一般社団法人駒ヶ根青年会議所が創立60周年を迎えられましたことに、心よりお慶び申し上げます。貴会におかれましては、地域社会の発展と人材育成に多大なるご尽力を重ね、若きリーダーの力でまちづくりを牽引してこられましたことに深く敬意を表します。市では、「誰もが自分らしくいきいきと活躍する広場のようなまち」の実現に向け、市政運営を進めております。その基盤となるのが、人と人とのつながりであるコミュニティの力であります。市では今年度から策定を進める第6次総合計画においても、このコミュニティの重要性を掲げ、持続可能なまちづくりを推進してまいります。貴会の活動は、まさにその理念を体現するものであり、今後の役割への期待はますます大きくなると言えます。創立60周年を契機に、さらなるご発展とご活躍を祈念申し上げますとともに、引き続き本市発展へのお力添えを賜りますようお願い申し上げます。結びに、貴会のさらなるご発展と会員皆様のご健勝、ご活躍を心より祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



飯島町長

唐澤 隆

この度、一般社団法人駒ヶ根青年会議所が創立60周年を迎えられましたことに心よりお祝い申し上げます。駒ヶ根青年会議所のみなさまにおかれましては、創設以来、「明るい豊かな社会」の実現のため、あるべき明るい未来を描き、様々な課題に正面から向き合い、果敢なる挑戦を重ね、地域に数多くの成果を残すとともに、地域を支える礎を築いてこられました。中でも、2008年に始められた「いなん100km徒歩の旅」は、地域の子どもの素晴らしい可能性を引き出すため、「一步一步前進すれば、必ずゴールに到達する」という、人生においても様々な試練や苦勞を乗り越える、強く優しい人づくりに挑戦する取り組みを、地域の皆さんと一緒に取り組んでこられました。あれから十数年、参加した子どもたちは成人し、それぞれの人生に果敢にチャレンジしています。こうした次の世代を担う子どもたちに、「今よりも明るく豊かで住み良いこの地域を継承したい」と続けてこられた60年間にわたる駒ヶ根青年会議所の活動は、地域の若者が自己理解を深め、社会との繋がりを実感し、自ら考え、自ら行動しあらゆる物事に挑戦を続ける人材が生まれ、世代を超えて新しい可能性が着実に拡がってきています。結びに、駒ヶ根青年会議所が地域とともにますます発展されることをご期待申し上げますとともに、会員各位のご健勝と更なるご活躍をご祈念申し上げ、お祝いのことばと致します。



中川村長

宮下 健彦

駒ヶ根青年会議所が1966年に発足して、今年で60年を迎えられるとのこと、おめでとうございます。駒ヶ根青年会議所の皆さんは、“明るい豊かな社会”の実現という理念のもと、若い世代の柔軟な発想力で、地域課題に真摯に向き合い、果敢な行動を続け、その一つひとつの活動は、この伊南地域に希望をもたらし、人と人をつなぎ、次代を担う人材を育てる大きな力となっています。「いなん100km徒歩の旅」が「コドモライ広場 eスポーツ」の実施に変化するのも時代に合うことだと思いますし、伊南地域の未来を観光でつなぐ「伊南ツーリズムサミット2025」も、観光で稼ぐ伊南を展望した時宜にかなう取り組みと考えます。2026年に目指すものは、～共感を力に、協働をかたちに、未来を開発する～という副題を掲げていると理解し、皆様の挑戦に拍手を送りたい。桃沢理事長を中心に、伊南地域と住民の幸せな発展のため、奮闘いただくことを願い、お祝いの言葉とします。



宮田村長

天野 早人

駒ヶ根青年会議所の皆様、このたび創立60周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。明るい社会の実現を目指し、長年にわたり地域を見つめ、挑戦と実践を重ねてこられた先輩諸氏と会員の皆様のご尽力に深甚なる敬意を表します。今日、人口減少や高齢化、価値観の多様化、AI等の技術革新といった新たな局面に直面する中、理想の未来を描き、小さな一歩を積み重ねる挑戦と学びの循環こそが次代を担う人材を育む道であります。会員相互による学び合いと実践を通じて、組織の成熟と信頼を高め、地域に新たな価値を創造されることを期待いたします。結びに、駒ヶ根青年会議所がさらに飛躍されることを祈念し、会員の皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げ、祝辞といたします。



駒ヶ根商工会議所

会頭

春日 俊也

一般社団法人駒ヶ根青年会議所が創立60周年を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。創立以来永きにわたって、地域の発展と自己研鑽に真剣に取り組んでこられたことに敬意を払い、感謝したいと存じます。私自身も30代の頃にJCの一員として活動させていただきました。この中で教えを受け学んだこと、培った友情は計り知れなく、今でも人生の貴重な機会であったと思っております。JCは地域社会への貢献を通して自らを磨く、という志を持った若者の集まりです。直接的にはさまざまなテーマに基づく事業を通して地域の人々に気づきと幸福をもたらす、それらの事業を推進する過程でJC会員の皆さんは試行錯誤しながらプロジェクトの進め方や組織の動かし方を学びます。創立以来390人を超える方々が駒ヶ根JCを卒業し、ここで学んだ考え方・知識や人脈を、商工業はもちろん地域の発展のためにこれまでも現在も活かしておられる。その素晴らしい循環をあらためて讃えたいと思います。JCがこれからも若者ならではのパワーを存分に発揮され、激動する伊南地域を多くの仲間たちと共に牽引していかれることを心から願って、お祝いの言葉といたします。

ご祝辞



公益社団法人
日本青年会議所
第76代会頭

加藤 大将

この度は、創立60周年を心よりお祝い申し上げます。

一般社団法人駒ヶ根青年会議所の皆様におかれましては、1966年の創立以来、長きにわたり「明るい豊かな社会」の実現に向け、地域のために多くの運動を展開されてこられたことと存じます。その不断のご尽力と輝かしいご功績に、深く敬意を表します。

また、平素より公益社団法人日本青年会議所の運動に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

本年度、貴青年会議所におかれましては、桃沢 拓也 理事長のもと、「NEXT CHALLENGE!～共感を力に、協働をかたちに、未来を開発する～」という力強いスローガンを掲げ、地域の課題解決と持続可能な社会の創造に向けて、さらなる挑戦を続けておられることと存じます。その高い志と行動力は、必ずや地域に新たな希望と幸せをもたらすものと確信しております。

結びに、貴青年会議所の今後ますますのご発展と、地域における運動が大きな成果を結実されますこと、そしてより一層の飛躍を心より祈念申し上げます。

加藤 大将



公益社団法人
日本青年会議所
北陸信越地区協議会
会長

金木 隆敏

一般社団法人駒ヶ根青年会議所の創立60周年に際し、心よりお祝い申し上げます。本年は、桃沢拓也理事長が掲げられます「NEXT CHALLENGE!～共感を力に、協働をかたちに、未来を開発する～」のスローガンのもと皆さまが一丸となり住み暮らす地域の理想のために日々励んでいらっしゃることを存じます。

北陸信越地区協議会は「地域の力を結集し希望あふれる幸せな北陸信越へ」を基本理念とし、各地青年会議所の皆さまと家庭や身近な人、そして地域がより幸せになる運動を展開してまいります。引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、貴青年会議所のさらなるご発展、並びに地域に新しい可能性と希望があふれる未来になること、そして、現役会員、先輩諸氏の皆さまにとって実り多き一年となれますことをご祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。



公益社団法人
日本青年会議所
北陸信越地区
長野ブロック協議会
会長

平山 亮太

一般社団法人駒ヶ根青年会議所の皆様、創立60周年、誠におめでとうございます。創立以来長きにわたり、明るい豊かな社会を創造するべく、様々な課題に向き合い挑戦を重ね、地域に多くの運動を生み出してこられたことに対し、心より敬意を表します。

本年度は桃沢理事長が掲げられる「NEXT CHALLENGE!～共感を力に、協働をかたちに、未来を開発する～」の号令のもと、地域の未来を見据えた新たな可能性を見出すべく、事業展開をされていることと存じます。

駒ヶ根青年会議所の継続的な力強く高いレベルの発信力は模範的であり、現在も地域内外に影響を与えています。長野ブロック協議会としまして、駒ヶ根青年会議所の皆様の潜在力を長野県内、地区、日本へ拡大させるとともに、県外から得た知見を各地域に持ち帰ることが使命であると考えております。引き続き長野ブロック協議会へのご理解をいただき、ともに運動を展開してまいります。

結びに、貴青年会議所のさらなるご発展と、地域の可能性を信じる挑戦が実る一年となれますことを心よりご祈念申し上げます。



スポンサーJC
一般社団法人
飯田青年会議所
理事長

佐々木 大地

一般社団法人 駒ヶ根青年会議所 が、創立60周年という大きな節目を迎えられましたこと、スポンサーJCを代表いたしまして心よりお慶び申し上げます。

1966年、伊南の地に灯された志の火は、幾多の困難な時代を乗り越えながら絶えることなく受け継がれ、地域の未来を切り拓く力として燃え続けてまいりました。その歴史は、常に「より良いまちを創りたい」という熱い想いと、挑戦を恐れぬ行動によって紡がれてきたものであり、今日の礎を築いてこられた先輩諸兄姉に、心からの敬意と感謝を表します。

本年度掲げられております「NEXT CHALLENGE!～共感を力に、協働をかたちに、未来を開発する～」この言葉には、変化の激しい時代にあっても歩みを止めることなく、自ら未来を切り拓こうとする強い覚悟が込められております。共感が人を動かし、協働が新たな価値を生み出す。その連鎖こそが、地域の可能性を無限に広げていく原動力であると確信しております。

今、社会は大きな転換期の中にあります。だからこそ我々青年は、現状に甘んじることなく、自ら問いを立て、挑み続けなければなりません。一人では成し得ないことも、志を同じくする仲間とともに踏み出すことで、確かな一歩へと変わります。その一歩の積み重ねこそが、やがて地域を動かし、未来を変えていくのです。

60周年という節目は、これまでの歩みを称えるだけのものではありません。次の時代へ向け、新たな挑戦を起こす出発点であります。受け継がれてきた志にさらに熱を加え、未来へとつなぐ覚悟を持ち続けることで、貴青年会議所はこれからも地域の先頭に立ち、希望を生み出し続ける存在であり続けると信じております。

結びに、これまで駒ヶ根青年会議所の発展に尽力されてこられたすべての先輩諸兄姉に深甚なる敬意と感謝を申し上げますとともに、現役メンバーの皆様がさらなる挑戦と飛躍、並びに貴青年会議所の限りないご発展を心より祈念申し上げ、祝辞とさせていただきます。



姉妹JC
一般社団法人
磐田青年会議所
理事長

市川 武史

一般社団法人駒ヶ根青年会議所の創立60周年を、心よりお慶び申し上げます。

磐田市と駒ヶ根市は、約700年前から伝わる悉平太郎(しっぺいたろう)の伝説により、険しいアルプスを越えて長きにわたる友好交流を育んでまいりました。1991年には両青年会議所が姉妹JCとして提携を結び、本年で35年という節目を迎えます。

この長い歴史の中では、新型コロナウイルスの影響などにより交流が叶わない時期もございましたが、駒ヶ根青年会議所の歴代理事長をはじめとする先輩諸兄姉、そして現役メンバーの皆様が情熱とご尽力により、今日まで変わらぬ友好関係を築いてこられました。

毎年の交流事業や合同LOMナイトを通じ、皆様の事業への熱き想いに触れることは、我々磐田青年会議所メンバーにとっても大きな刺激となっております。今後は両青年会議所による合同事業の開催など、さらなる連携の深化も楽しみにしております。

結びに、駒ヶ根青年会議所の益々のご発展と、桃沢理事長をはじめとするメンバー皆様のご健勝を心より祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。



駒ヶ根青年会議所
シニア・クラブ
世話人代表

大山 崇人

駒ヶ根青年会議所が創立60周年を迎えるにあたり、駒ヶ根青年会議所シニア・クラブを代表して心よりお祝い申し上げます。

駒ヶ根青年会議所シニア・クラブは駒ヶ根青年会議所のOB組織として現役の活動を支援する立場にあり、ちょうど10年前、創立50周年を迎えた際も、当時現役であった私たちは諸先輩方から多大なる支援を受け、安心して青年会議所活動を行う事が出来ました。

10年一昔とは言いますが、この10年間で想像もしなかったような変化が世の中には訪れました。その変化の中でも、駒ヶ根青年会議所は、挑戦し、学び、行動に移し、持続的な青年会議所活動を行ってきました。そんな皆様の、シニア・クラブは継続して支援していきますので、安心して青年会議所活動に取り組んでいってください。

末筆となりますが皆様の目指す未来が、今から10年のちに実を結びますよう、現役メンバー皆様のご健勝とご活躍を祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。



2016



勇往邁進

～播るぎない信念で刻む、輝ける未来創造への歩み～



理事長 宇佐美 誠

会 員 数 31名

委員会構成
総務委員会
未来ビジョン策定委員会
地域力醸成委員会

主要一般事業他
・未来ビジョン策定プロジェクト
・キッズタウンいなん 2016
・仕事の魅力を伝える事業
・創立 50 周年記念式典
・JICA カンボジア青年研修事業
・創立 50 周年記念式典
・キッズタウンいなん 2016

2018



前進思考あるのみ

～己の変革が明るい未来を創造する～



理事長 下平 泰司

会 員 数 38名

委員会構成
総務広報委員会
JC プライベート開発委員会
生き抜く経営力開発委員会
人口増加策創出委員会

主要一般事業他
・経営学塾
・伊南地域魅力創出会議
・伊南地域魅力発信プロジェクト

2017



伊南改造

～感性の共鳴で地域の未来を切り拓く～



理事長 細田 隼平

会 員 数 31名

委員会構成
総務委員会
地域志向アントレプレナー育成委員会
コンパクトシティ開発委員会

主要一般事業他
・地域志向育成塾
・アントレプレナーチャレンジプロジェクト
・中心市街地参入促進プロジェクト
・中心市街地の空き店舗を活用する事業

2019



イノベーションの創造

～革新的な思考を持ち、新たな時代の先駆者となれ～



理事長 佐々木 宗一

会 員 数 34名

委員会構成
総務広報委員会
郷土の誇り伝承委員会
輝く人材拡大委員会

主要一般事業他
・駒ヶ根青年会議所宣誓文の策定
・会員拡大
・出前ふるさと教育
・地域資源体験ツアー
・ふるさとへの想い発表
・第 68 回全国大会富山大会への出展

2020



変革への挑戦

～地域を想い、人をつなぎ、未来へつなぐ～



理事長 新井 亮太

会員数 35名

委員会構成
JC ブランディング委員会
組織拡大委員会
伊南地域価値デザイン委員会
アクティブラーニング推進委員会

主要一般事業他
・駒ヶ根市長選挙公開討論会の開催
・学校再開に伴うソーシャルディスタンスの獲得企画
・伊南地域で献血に行こう
・とどけ、子供たちの想い
・ウィズコロナを考える事業
・伊南地域の魅力デザインプロジェクト
・インナーブランディング事業

2022

1ミリの変化

～小さな意識の変化は大きな力へ～



会員数 28名

委員会構成
総務交流委員会
会員拡大委員会
マナーリテラシー向上委員会

主要一般事業他
・チームビルディング事業「目指そう！ONE TEAM 事業」
・駒ヶ根 JC 交流旅行
・マナーラーニング事業「ゼロから学べる！オカネアカデミー」
・マナーコミュニケーション事業「オカネ教育スタート講座」
・全体事業「SDGs パーク」

2021



協創

～自ら未来の起点となり共感が生み出す価値創造～



理事長 福澤 雄一

会員数 36名

委員会構成
総務広報委員会
郷土の誇り伝承委員会
輝く人財拡大委員会

主要一般事業他
・農食マッチング
・青空の KITCHIN MARCHE
・変化をおこすリーダー育成事業
・リテラシー事業

2023



果敢に挑戦

～自分を信じ、無限の可能性を広げよう～



理事長 青木 謙一

会員数 30名

委員会構成
理念共感委員会
主権者意識向上委員会
ソーシャルアントレプレナー向上委員会

主要一般事業他
・理念共感事業
・ソーシャルアントレプレナー学習・実践事業
・大人の未来スクール
・SDGs パーク第2弾 コドモミライ広場

2024



ひとづくりこそまちづくり ～自由と責任を体現する先にある未来への歩み～

理事長 宮脇 達樹

会員数 31名

委員会構成
JC アカデミー委員会
次世代育成委員会
地域教育力向上委員会

- 主要一般事業他
- ・魅力あるリーダー育成事業
 - ・Rashisa to Omoiyari 事業
 - ・指導者のかたり場事業
 - ・教育力向上事業「指導者の学び場」
 - ・持続可能な地域創造事業
 - SDGs パーク第3弾！コドモミライ広場！



2025



未来志向 ～在るべき未来の具体像から、成すべき今を創る～

理事長 伊藤 航

会員数 31名

委員会構成
運動理念確立委員会
伊南ツーリズム共創委員会
国際教育推進委員会

- 主要一般事業他
- ・インナーブランディング事業
 - ・伊南ツーリズムサミット 2025
 - ・国際教育推進事業
 - ・グローバル体験事業
 - ・モニタリングツアー
 - ・SDGs パーク第4弾コドモ未来広場



LOM Vision Toward 2036

絶え間ない **成長** と **挑戦** が、伊南地域に新たな **躍動** を生み出す

はじめに

一般社団法人駒ヶ根青年会議所は、設立以来、伊南地域の発展と明るい豊かな社会の実現を目指し、時代の変化と共に運動を展開して参りました。

しかし、地域課題が複雑化し、価値観が多様化する現代において、私たちにはこれまで以上に「何を目指し、どこへ向かうのか」を明確に示すことが求められています。

単年度制という組織の特性を持つ私たちが、10年先を見据え、一貫した運動を展開していくためには、共通の未来像と、それを支える行動の指針が不可欠です。

私たちは、地域を想い、仲間とともに挑戦し続ける中で、人と人をつなぎ、新たな価値を創出していきます。そして、この組織で育まれた一人ひとりが、地域の中でリーダーとして行動し、共感の輪を広げていくことで、持続的な運動を生み出していきます。

本ビジョン・ミッションは、未来を描くだけのものではなく、組織・メンバーの行動の指針となるものです。メンバー一人ひとりが当事者として行動し、伊南地域の未来を切り拓いていくことをここに宣言します。

Mission

挑戦を続けるリーダーを輩出する

失敗を恐れず一歩を踏み出し、主体的に行動し続ける経験を積み重ね、周囲を巻き込みながら変化を起こし続けるリーダーを輩出します。

多様な人と想いが交わるハブとなる

地域や立場を越えて多様な人と想いが交わる場をつくり、人と人をつなぎ掛け合わせることで地域に協働の輪を拡げます。

行動と成長が連鎖する機会を創出する

社会や地域の課題解決に挑戦し、行動と振り返りを通じて得た成長が、次の行動やより大きな挑戦へつながる好循環を創ります。



会員紹介



理事長 桃沢 拓也
生年月日：H3/9/13
R4年入会
田島建設(株) 取締役



直前理事長 伊藤 航
生年月日：S63/6/15
R2年入会
伊藤電工(株) 常務取締役



専務理事 名子 修平
生年月日：H5/9/24
R3年入会
アテックス税理士事務所 税理士



委員長 小出 和史
生年月日：H2/4/10
R5年入会
石田建設(株) 常務取締役



副委員長 浦野 祥吾
生年月日：H2/7/29
R7年入会
porterra(合) 代表社員



副委員長 関口 勉
生年月日：H6/7/10
R5年入会
(株)PEARL 店長



副理事長 宮脇 達樹
生年月日：S61/4/21
H29年入会
(株)ミヤ建住産 代表取締役



副理事長 塩澤 悠人
生年月日：H9/9/20
R5年入会
(株)塩澤工業 代表取締役



監事 茂木 彰洋
生年月日：S63/6/7
R3年入会
(株)ラフリエイト 代表取締役



委員 井口 雄太
生年月日：S62/11/28
H27年入会
(有)イグチ美装 常務取締役



委員 下平 拓真
生年月日：H2/5/14
R6年入会
下平建設(株)



委員 勝 栄紀
生年月日：H11/12/9
R5年入会
(有)カツモト 製造主任



委員長 北川 裕
生年月日：S63/2/22
R6年入会
(株)北川製菓 常務取締役



副委員長 堀内 学
生年月日：S63/6/9
H30年入会
堀内学税理士事務所



副委員長 馬場 一哉
生年月日：H6/10/12
R5年入会
(株)川岸商会



委員 小林 寛幸
生年月日：H4/4/10
R8年入会
(有)カネカ

事務局員 橋爪 淳子



委員 田中 大貴
生年月日：H5/1/8
R4年入会
(株)エコシティイー・駒ヶ岳



委員 丸茂 雅哉
生年月日：S61/7/26
R8年入会
一般社団法人cat nip 理事



委員 下平 雄大
生年月日：H7/1/5
R8年入会
(株)下平工業



委員長 竹村 悠斗
生年月日：H3/10/8
R5年入会
中央アルプスリゾート(株) 統括支配人



副委員長 井上 隆恭
生年月日：H2/2/12
R7年入会
(有)井上板金 専務取締役



副委員長 成澤 洸太郎
生年月日：H9/6/15
R7年入会
成澤塗装 代表



委員 田熊 清太郎
生年月日：H11/3/20
R4年入会
田熊商店 代表



委員 吉川 リカ
生年月日：H7/3/26
R8年入会
UpStage88
アップステージワロワロ



委員 赤羽 佑太
生年月日：H11/4/11
R8年入会
長野県信用組合

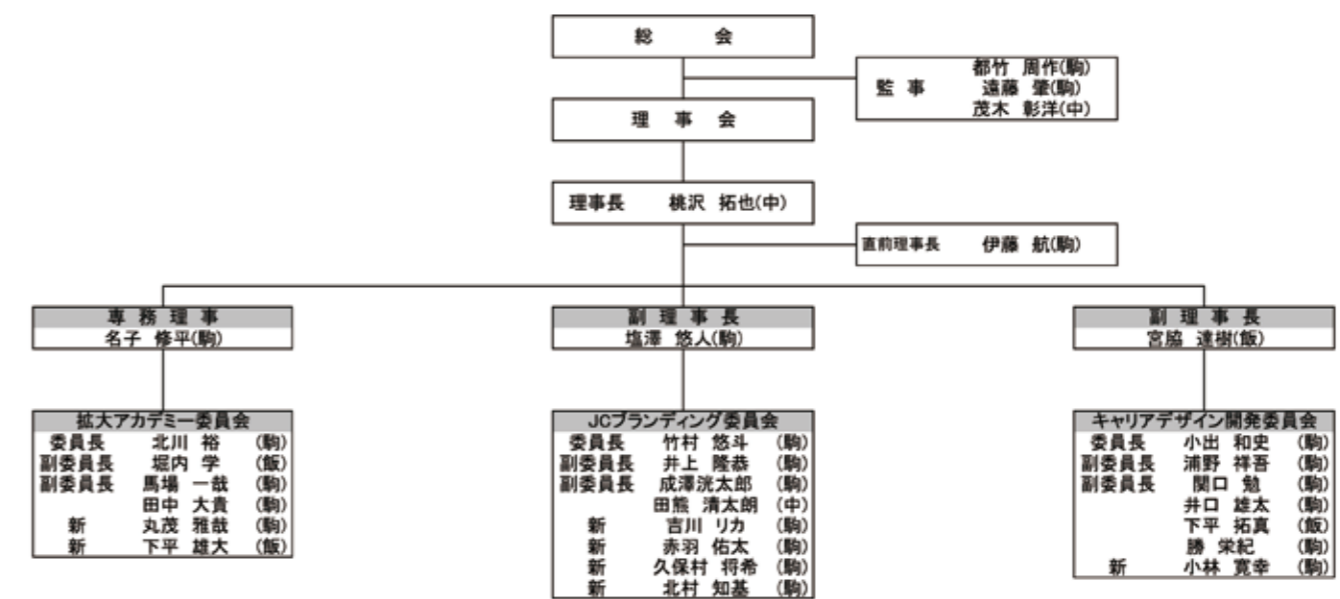


委員 久保村 将希
生年月日：H13/3/12
R8年入会
よかげん 店長



委員 北村 知基
生年月日：H13/11/29
R8年入会
SIRIUS 店長

2026年度 一般社団法人 駒ヶ根青年会議所 組織図



(駒)駒ヶ根市 (飯)飯島町 (宮)宮田村 (中)中川村
(新)新入会員 (準)準会員 (休)休会

特別会員紹介(敬称略・順不同)

高谷 文明	山田 泰	小林 正博	堀井 朝運	坂口 昌弘	村井喜美雄	吉沢 雅則
井上 勇	小林 迪之	荒井 和男	小原 邦雄	堀内 寿雄	鈴木 明	下島 康保
白鳥 喜晴	小鍛治忠男	清水 茂夫	前林 善一	唐澤 亨	氣賀澤徳義	松崎 郁夫
雨宮 秀成	小林 和良	酒井 健治	宮下 幹康	加藤 和美	福沢 邦夫	原 鳳兵
新井 吉紘	倉田 一徳	下島 通保	小林 成丞	小松 慎司	黒田 輝	井坪 勇
春日 洋一	福沢 万知	北原 公和	米山 建夫	山田 益	間瀬 信明	堀内 茂彦
米山 栄夫	木下 昇	小林 祥典	宮澤 正之	所沢 理郎	清水 文喜	片桐 光繁
塩沢 崇	井田 将司	坂本 寿雄	伊藤 勝彦	清水 能忠	久保田治秀	桑原 弘之
桃澤 敏紀	下平 憲夫	山田 稔	宮下 寛一	大嶋 信義	宮沢 和男	奥田 憲一
小林 治人	佐々木正博	宮下 治	小原 正男	林 茂	宮脇 眞	鈴木 勲
大嶋 文雄	田中 清文	松崎 久文	河井三代人	小平 善和	鷹野 準	水野 一義
今井 秀樹	吉澤 利文	池上 公司	飯田 実雄	下平 文隆	伊藤 政文	新井 隆廣
宮下 修一	村澤 英夫	井口 芳雄	森谷 和郎	小林 正昭	下平 洋一	伊藤 秀雄
下平 順一	中島 雅文	木下 哲夫	勝島 善明	高見澤英幸	小田切和夫	福澤 秀宏
伊藤 秀一	林 喜之	宮脇 義直	宮澤 清高	窪田 雅則	松井 俊仁	米澤 康則
竹村 進	田中 昇	菅沼 久	伊藤 雅基	小平 邦一	宮下 孝	北沢 英昭
田畑 宏喜	野村 肇	田中 康文	小町谷悦男	広末 慎一	中谷 俊治	橋本 英雄
池上 千尋	岩切 康治	石田 敦嗣	原 高明	江崎 伸二	下島 芳幸	神谷 正紀
矢澤 弘幸	小池 正治	木下 勝博	気賀沢正門	麻野 一郎	増沢 良雄	渡辺 達也
神戸 正博	滝沢義一郎	城田 孝夫	星野 晃伸	北川 浩一	北林 久幸	小林 正樹
桃沢 傳	三浦 敏美	松村 正勝	柴田 早苗	横田 克彦	穂高 平一	小松原繁樹
松井 良介	中島 和彦	平澤 成己	有賀 健一	小林 寿之	黒河内勇雄	鈴木 天章
唐木 暢彦	宮崎 聰志	福島 満	石田 耕一	宮沢 正也	伊藤 肇	小池 長
加藤 恭一	紫芝 敏光	酒井 悟	松下 徹	宮沢 重明	久保田 満	宮下 学
堺澤 貞幸	米山 久之	村上 守伸	中原 増実	森 隆	小松 恭二	春日 俊也
小林 啓一	小林 正信	鈴木 隆	石澤 幸男	田中 正泰	中島 周司	下平 和宏
羽場 由幸	瀧澤富士夫	新井 紀和	北林 篤	田中 清志	原 茂樹	中坪 康一
大島 朋子	高橋 孝幸	北原 岳志	新井 康哲	井上 慎一	中山 茂房	今堀 雷三
宮澤 正輝	橋爪 弘明	上野 美穂	山浦 献幸	芦部 浩久	瀧澤 輝雄	原田 喜憲
飯島 秀樹	中村信太郎	真木 史拳	池上 博康	井坪 義文	塩澤 和彦	高橋 康治
小林 正明	塩沢 寿一	今井 秀行	小林 治道	宮下 進吾	松井 和彦	松井 秀之
加藤 道生	高坂 敬弘	生田 治	白鳥 俊明	吉川 英樹	倉田 秀紀	北原 和明
本多 実	吉川 正宏	清水 剛	坂元 洋	田中 靖隆	小出 卓央	湯澤 英喜
平林 裕一	小林 浩幸	佐藤 幸宏	塚本 邦厚	佐藤 和樹	宮脇 哲也	森 智幸
白鳥 恒	山浦 正貴	下島 聡	吉沢 賢治	上野 好弘	松崎 道靖	松崎 哲也
塩澤 康一	川島 昭叔	熊谷 壘	坂口 考之	大林 直樹	柿木 勉司	大嶋 克典
藤岡 公明	細田 卓爾	中村 英之	中村 侑子	橋場 裕二	北林 元	水上 健

佐々木浩人	田中 雅浩	氣賀澤洋司	深井 英行	池上 進	宮澤 孝彰	宮崎 正志
大山 崇人	山口 薫	田中 明宏	三島 泰明	下平 誠	山本 雅樹	片桐 剛
廣井信一郎	伊藤 悦子	米山 修一	呉本 圭樹	相馬久仁寛	山岸 大輔	吉澤 雄二
細田 隼平	熊谷 洋介	宇佐美 誠	酒井 由香	竹上 雅生	下平 新	長井 敏宗
大澤 剛	唐澤 国洋	小林英里佳	織井 寛之	西那 隆志	赤羽根 晶	三好 学
松崎 貴彦	下平 泰司	大口 裕一	東城あづさ	倉田 秀司	田中 秀幸	福澤 雄一
古川 晶	前田 智子	唐澤 哲也	佐々木宗一	下平 竜也	林 裕輝	青木 謙一
刈間 英文	新井 亮太	遠藤 肇	坂井 成一	森 光星	松村 正男	都竹 周作

物故会員紹介(敬称略・順不同)

増沢 忠	中原 章	田中 六郎	山本二三男	伊藤 勇	百瀬 幸文	森 章
小池 千古	春日 鉦保	井沢 進	松下 真	池上 昭信	須田 経夫	丸山 信男
安川 秀雄	吉沢 正博	馬場 弘一	生田 俊夫	丸山 明	玉木 勉	芦部 次郎
織井 憲文	春日 治	春日 和郎	中坪 敏郎	森岡圭一郎	高橋 淳一	氣賀澤 宏
松井 要	長谷部義治	浦野 利雄	宮澤 弘根	小林 祥宏	山崎 一統	湯沢 伸
市瀬 弘隆	穂高 一男	田中 一正	伊藤 五郎	平澤 博人	竹上 長美	宮下 勝
塩澤 良人	伊藤 千秋	藤澤 武夫	村澤 二郎	中原 正純	竹澤 一郎	青木 勤
河野 通昭	小澤 政示	下島 利満	宮下 善行	小池 和夫	塩澤 信	井坪 義幸
花井 茂治	吉沢 忠義	春日 衛	石原 俊美	馬場 浩之	小出 隆興	山下 善廣
山田 豊	小林 正人	塩澤 未武	宮下進八郎	諏訪 德行	戸枝 武雄	新井 博
小田切勝彦	平澤 利明	小川 一幸	増田 和禧	小出 美水	三井 秋男	下島 克己
橋本 仁	下井 洋平	松崎 裕光	宮澤 宏彰	三澤 照男		

賛助企業紹介(敬称略・順不同)

アルプス中央信用金庫 八十二長野銀行 駒ヶ根支店 長野信用組合 駒ヶ根支店

さらなる10年を 目指し突き進もう





一般社団法人 駒ヶ根青年会議所
創立60周年記念誌

発行日：2026年6月20日

発行：一般社団法人駒ヶ根青年会議所

発行責任者：桃沢 拓也

編集責任者：竹村 悠斗

制作：株式会社アトリエヒトトキ
